

第6次総合計画策定に係る【すがかわ保育園】保護者懇談会 会議録

開催日・出席者等

開催日時 令和2年7月21日（火） 15時00分から16時00分まで
場 所 すがかわ保育園 遊戯室
出席者 竹節町長、健康福祉課長、子ども支援係長、総務課長、企画係長、企画係員

会議事項・懇談内容

- 1 開会（総務課長）
- 2 挨拶（竹節町長）
- 3 第6次山ノ内町総合計画について（企画係員）

懇 談

【発言】 懇談会参加者意見

【回答】 役場出席者意見

【発言1】

町として、須賀川に対しての方針とか何か考えはあるか。

【回答1】

須賀川に特定して何か実施していくことは、具体的にはない。

人口減少がどうして起こっているのかは先ほど担当から説明したとおりだが、町の現状としては、出生数と死亡数の差である自然減少が年間150人くらい減、そのほかに転入と転出の差である社会増減が年間50人くらい減で、毎年200人くらい減っている。自然減少が大きい中で婚姻数や出生数を増やしていきたいが、個人的な事柄であるため直接働きかけることが難しい。

まずは、本町に住みやすい環境を整えていきたいと考えているが、特に須賀川地区に関しては公共交通の関係ではないかと認識している。議会での質問もあるが、「楽ちんバス」の中野市への直接乗り入れに関する事、また、人口減少に伴う小学校統合の問題などが重要な問題になってくるかと考えている。

いずれにしても、子育て世代の若い人がどんなことに困っているかお聞きしたい。須賀川地区に住み続けるには、どんなことが改善されればよいと思うか、意見をいただきたい。

【発言2】

子どもが中学生以上の家庭で、通学が大変で引っ越した方が近隣でも数軒ある。特に朝の送りが大変で、「楽ちんバス」で夜間瀬駅まで行ければよいが、子どもの通学時間が合わず利用できないという声を聞く。

須賀川の実家が古くなり両親が元気だということで、とりあえず子育て世帯だけ中野や小布施に移住しようかという家庭が数軒あった。働き盛りで税金を一番収める世帯がいなくなってしまうのはもったいない。

地域の先輩から送り迎えの大変さは特に聞くので、保育園の保護者としては、これから大変なんだと思ってしまう。

そういった不安や苦労を解決するために、子どもが通学しやすい時間に「楽ちんバス」の発着を調整することは可能か。町で運行しているのであれば、柔軟に対応いただきたい。

【回答2】

公共交通は当係で担当しているので、いただいたご意見を基に研究したい。

湯田中駅も夜間瀬駅も長野電鉄の時間に合わせてダイヤを組んでいるので、関係機関との調整や網形成計画を策定する中で、より良いものにしたいと考えている。

近隣との調整や交通網の研究をこれから行う中で、いただいたご意見は参考にさせていただく。ダイヤ改正の明言はこの場では難しいことをご理解いただきたい。

【発言2-2】

調整が必要なことだと思うので、この場で決定できないことは理解している。

子育て世代からそういった意見があることはわかってほしい。

【回答2-2】

ご意見の内容は十分理解できるが、夜間瀬駅からバスや電車に乗り換えできる時間に「楽ちんバス」のダイヤを設定している。運行自体は町で行っておりダイヤの調整もできると思われるが、バスや電車との調整は長電バスや長野電鉄との調整が必要になる。

【発言2-3】

現在、須賀川から夜間瀬駅まで送っていく方が非常に多い。

特に部活をしている家庭は「楽ちんバス」の夜間瀬駅の乗り換えがうまくいかないから送迎が必要になるようだ。子どものために、朝の1本を増やしていただくなどすれば、親の負担は軽減されるのではないか。

【回答2-3】

現状のダイヤ設定にも他の公共交通との乗り継ぎなどの理由があるが、ご意見は承知したので、検討させてほしい。

【発言3】

保育園の園児は、何人より下回ったら須賀川保育園が無くなるのか、基準はあるのか。

【回答3】

特に基準はない。

他の地区の懇談会で、須賀川保育園は行事を実施するにも大変だから統合した方が良いのではないか、という意見があった。当課の方向性として、統合は考えていないと回答している。保育園は小さい子どもを預かるので、どこかに合併して園児バスで通うというのは体力的に無理があると考えている。現状、須賀川保育園がなくなる可能性はない。

【発言3-2】

園児の数が減っているのが不安だった。それを聞いて安心した。

【発言 4】

I ターン者などの移住者に対して、町のサポートは。

【回答 4】

企画係は移住定住推進室も兼務している。

移住者に対しては、家賃補助や住宅改修補助などを実施している。

【発言 4-2】

今住んでいる定住者に対して、住宅更新や改築の補助などはあるか。

【回答 4-2】

若者定住促進として、45 歳未満の方に対して住宅更新や回収の補助を実施している。

【回答 4-2-2】

町内の若者を町外に出さないため、5 年前に新規に始めたもの。町内業者を使えば補助金加算とか、子どもがいれば加算とか、そういった内容で実施している。

【発言 4-3】

他の市町村、例えば中野市とかと比べると補助率が低いという話を聞く。町から中野市に行くとか I ターン者になるため補助率が高いのかもしれない。

定住者に対して、補助の拡充を実施する気があるか、それとも財源的にこれで手一杯か。

須賀川に住んでいると当たり前になっているが、住む人間にとって「雪」はかなりの負担。山ノ内町は災害の少ない土地で、被災地から町に移住という話も聞くが、雪がかなり多いと言っていると、尻込みしてしまう方が多い。中野市に行けば雪の負担はないし、補助金も多ければ、若い人は出て行ってしまったり、移住者はそちらを選ぶのではないか。若者が離さない何か、例えば、若者向けに町が土地を安く販売するとか、定住者に対する囲い込みを強化した方がよいのでは。

愛着があるからとか、自然が豊かだからとか、住んでいる人は色々な思いがあるのだけど、子育て世代にとって目の前のお金はすごく大事。

須賀川の現状を見ていると、各地区にポツンポツンと住宅がある。20~30 年後、須賀川でまとまらないうちで地区として成り立たなくなってしまうと思う。例えば、建築許可を出すときは特定の地域にするとか、その地区に建築した場合補助金をあげるとか、町が土地を提供するとか、集落を集中させることは考えていないか。長期的に見れば、除雪や上下水道の維持管理など、役場にとってもメリットが大きいのでは。

【回答 4-3】

お話を聞く中で、大変貴重なご意見をいただいたと感じている。住居の移動など、地元には大変話しにくい内容だが、実は、担当レベルではお話いただいた内容の必要性は感じている。

地方では、コンパクトシティなどある程度施設をまとめようという動きがあるが、山ノ内町ほど面積が広く分散していると、一気にどこかに集めるのはなかなか難しい。

実際に動くとなると、住民の方の意見など色々なことがかみあわないと進められない。

地元の方からの非常に貴重な意見だと思うので、少しでも前に向かっていければよいと思う。

【発言 4－4】

いきなりできる話ではないと思う。将来的には、まとまっていかないと、と感じている。

除雪に関して言えば、須賀川で請け負っている人は平均年齢が 60 代後半。引き継ぐ人がいるかと言えば、若い人は除雪なんかやりたがらない。機械の更新も難しいと思われる。将来、須賀川の除雪自体が難しくなると考えている。

保育園、公民館がここにあるのだから、新たに住宅を建設する人はこの周辺にという誘導は必要なのでは。役場で周辺の土地を買って販売してもいいだろう。

災害の関係でも、近年は支出が膨大になっているのではないか。防災の意味でも、安全な場所に建築許可をするなりで人を集めるのは適切な判断ではないか。

住民がそれぞれ好きなことをしては達成できない。これは行政で動いていただかないと。せっきくの長期の計画であるのならば、理想だけじゃなくて、地域の現実にあった視点も入れて考えてほしい。

【回答 4－4】

先ほども申したとおり、担当者としては進めていきたい思いはある。

地域の方からそういった意見を出していただけるのは、非常に有難い部分があって、町・行政が先頭に立ってコンパクトシティを掲げて土地造成や誘導を進めていければと思う部分もあるが、一方で、自分の土地から強制的に移されたと思う方もいれば、あまりよいことではない。地域の皆さんからそういった意見が多数であるようであれば、行政としては進めていくお手伝いはしやすい。

いただいた意見を参考に、長期の 10 年計画であるので、その中で少しでも前進できるようにしたい。ご協力をぜひお願いしたい。

【発言 5】

須賀川の児童クラブは整備する予定はあるか。

【回答 5】

旧北小学校の改修について、建設委員会での検討の結果「ふれあいセンター」化する計画となっている。その「ふれあいセンター」の一角を借りて児童クラブを運営したいと考えている。

【発言 5－2】

児童クラブ周辺の庭への遊具の設置など、子どもが外で遊べるような計画はあるか。

【回答 5－2】

ふれあいセンター整備の構想について教育委員会でどの程度進んでいるのか不明ですが、建設委員会には地元の方も入っているので、できれば地元の方からそういった要望を入れていただければ動きやすいと思う。

児童クラブを所管する健康福祉課が施設整備に関わっていないので、建設委員会の意見として入れていただくことで、設置の検討がされていくと思う。

【回答 5－2－2】

現状の児童クラブを取り壊し、「すがかわふれあいセンター（仮称）」の一部を児童クラブとして使用していく方向で進めている。現行の代替場所として新たな児童クラブを設置することで、教育委員会としてみれば、「ふれあいセンター」の建設に遊具の新設は全く入ってい

ない。

建設委員会で児童クラブの設備の話になると、「ふれあいセンター」建設の内容が違ってきますので、「ふれあいセンター」建設後の要望になると思われる。

【質問 5－3】

児童クラブを新しくしていただけるのは大変有難いが、周辺を小さい子どもや家族で遊べるように整備してもらえると、この辺りも活気付くと思う。遠くに遊びに行かなくても、近所の子たちが集まって遊べたらいいと思う。

【回答 5－3】

「ふれあいセンター」整備の一環としては難しいが、「ふれあいセンター」周辺の整備に関して、貴重なご意見として持ち帰って検討する。

4 その他

SUGUメール登録のお願い（企画係長）

- ▶ 質疑等特になし

5 閉会（総務課長）

以上